

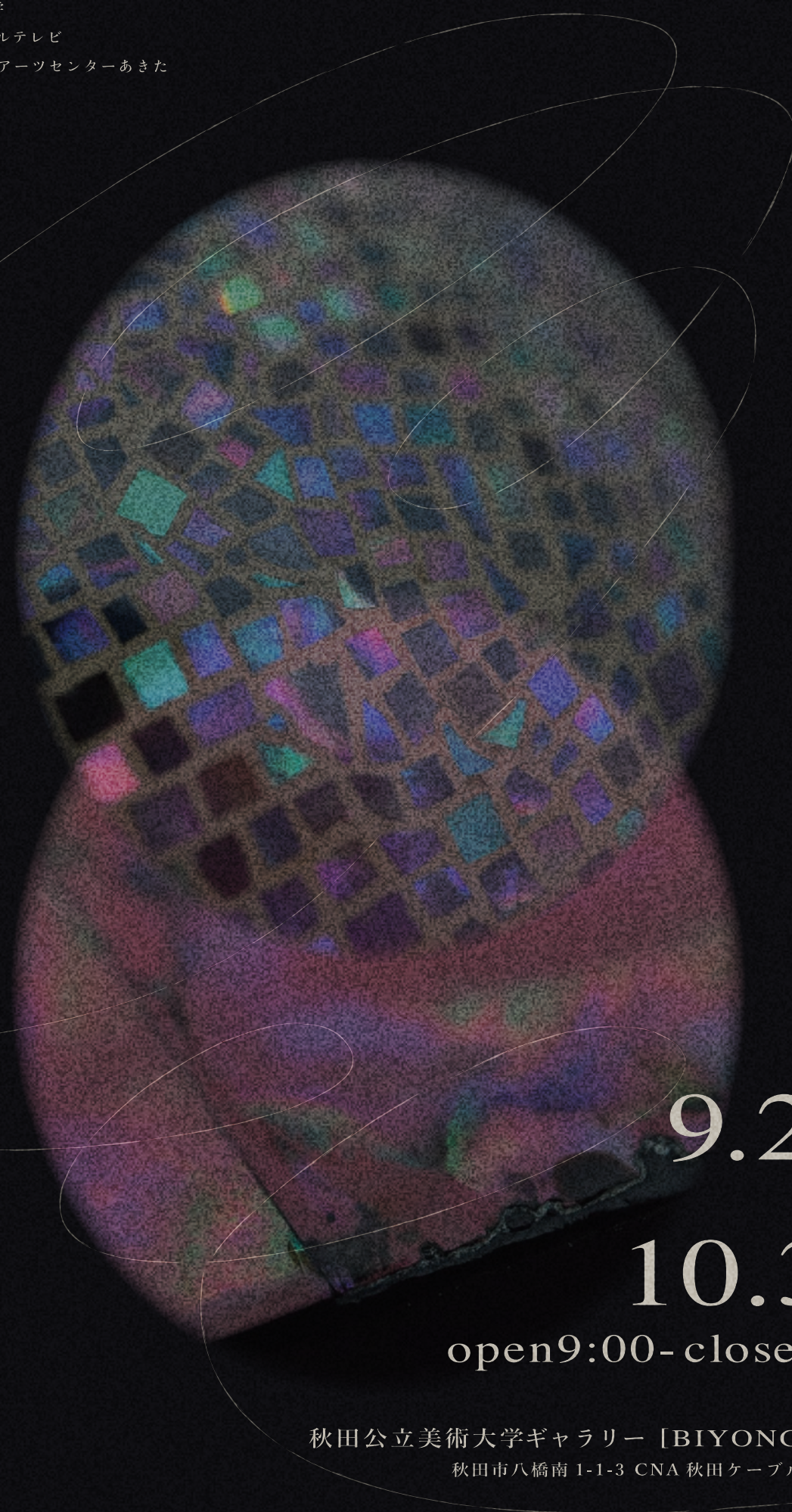
主催：秋田公立美術大学

協力：CNA秋田ケーブルテレビ

企画・制作：NPO法人アーツセンターあきた

春山あかり作品展

まゆ
繭
の
そと
外泡
の
あわ
中
なか



2021

9.24 FRI

10.31 SUN

open9:00- close17:30

秋田公立美術大学ギャラリー [BIYONG POINT]

秋田市八橋南 1-1-3 CNA 秋田ケーブルテレビ社屋内

新型コロナウイルスの感染拡大状況などにより、展覧会の開催期間や内容が変更になる可能性があります。詳しくは、アーツセンターあきたのWEBサイトよりご確認ください。



繭は、身体的な 自他の分断。 泡は、精神的な 自他の分断。

まゆ 繭まゆの外そと泡あわの中なか

漆芸特有の繰り返し制作工程の中、様々な思考が泡のように現れては消えていく。

自分や、自分を取り巻くもの、この世界、この宇宙のこと。過去、現在、未来のこと。今生きている生命、もう生きてはいない者たちのこと。生と、相対するもの。生より、ずっと深くにあるもの。

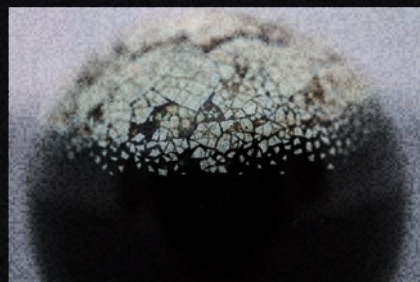
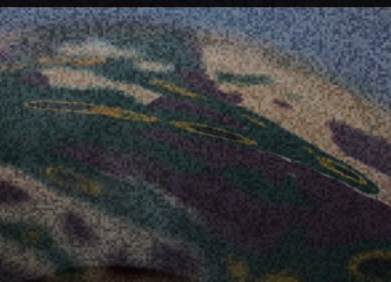
思考の始まりは、小さな子どもの誰かがぶつかると「死」というもの。なぜ生きてなぜ死ぬのか？いつかは死ぬのになぜ生き続けるのか？誰に問うても正しい答えなど返ってこない、解決を見る事のない問いを、現在に至るまで続けてきました。

自身の哲学的思考と、漆芸の繰り返しの工程とが交わる時、泡のような思考が、ひとつの形を得て、この場にならびます。

繭は、身体的な自他の分断。
泡は、精神的な自他の分断。

作るという行為だけが生み出す思考の泡に触れ、繭の外にいる鑑賞者を、泡の中へと導きます。

CONCEPT



春山あかり

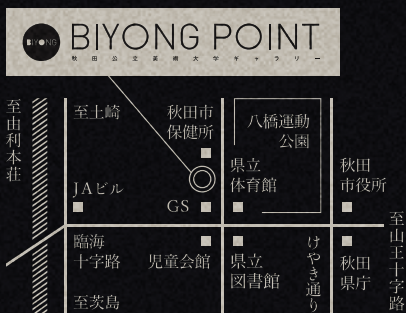
一九九八年生まれ、二十三歳。神奈川県川崎市出身。秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻卒業。現在同大学研究生として漆芸作品を制作。卒業制作作品「魂蔵」秋田県立美術館館長賞受賞。

漆を用いたアート作品を制作。哲学に興味を持ち、自身の死生観や生命の在り方、表現すること、考えること、創造することの意味など、さまざまな物事への思考を追求する。制作の繰り返し工程が、思考を研ぎ澄まし、また作品へと還っていく。作品との間の目に見えない循環やりとりを感じることを大切にしながら、作品を制作している。



PROFILE

ACCESS



秋田駅西口バスターミナルより、秋田中央交通バス2・3・5番線乗車「県立体育館前」「秋田市保健所・サンライフ秋田前」停留所下車、徒歩3分 ※お車でのご越しの方は、CNA秋田ケーブルテレビのお客様用駐車場をご利用いただけます。

最新情報はWEBサイトから！

BIYONG POINT



お問い合わせ先：NPO法人アーツセンターあきた
〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学アトリエももさだ内
TEL：018-888-8137 E-mail：bp@artscenter-akita.jp

arts center akita

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

